

令和7年8月18日

関係機関・団体の皆さん

一般財団法人ワンネス財団
共同代表 伊藤宏基
同 三宅隆之
同 泉 圭介

再犯防止・更生支援に関するシンポジウム開催につきまして
(ご案内ならびにチラシ配架願い)

拝啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

来る10月19日(日)札幌市にて、弊財団主催シンポジウムを開催しますので、下記ご案内申し上げます。

弊財団は、2005年に奈良県内で活動を開始し、現在は奈良、沖縄両県において、指定障害福祉サービス事業所、法務省保護観察所登録の自立準備ホームを運営しています。刑事施設出所者をはじめとする罪に問われた者、依存症者やひきこもり者などを全国から受け入れており、ウェルビーイング視点による生活・心理支援を提供しています。また、相談対応、講演会開催、家族会開催などを全国的に展開しています。北海道においては、札幌市内にてセミナー・相談会(年2回)と家族会(毎月)を開催しています。

本シンポジウムは、弊財団創立20周年を記念した企画です。再犯再非行防止ならびに再犯再非行防止にかかる活動への理解増進を目的に、国内4か所(東京、大阪、福岡では既開催)にて、基調講演や識者等によるシンポジウムを実施するものです。支援における従来の非対等な関係から、同行者として共に歩む「生きなおし」支援へ転換し、ウェルビーイングを広げるための実践や視点を共有します。

本情報のご周知ならびにチラシ配架等ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 催事名: 創立20周年記念 ワンネス財団ウェルビーイング・シンポジウム
2. テーマ: 新たな立ち直り支援への眺望 ~生きがいと、生きなおす
3. 後援(順不同): 北海道(申請中)、札幌市(申請中)、北海道新聞社(決定)
4. 開催日時: 令和7年10月19日(日)午後1時半開始、午後4時半終了
5. 会場: 札幌市教育文化会館 研修室403(札幌市中央区北1条西13丁目)
6. 参加者: 司法、矯正、更生保護、福祉関係者を中心に、
生きなおす応援(更生支援、再犯防止等)に関心をお持ちの方。定員60名。
7. 参加費: 無料(ただし事前登録が必要)
8. 内容:
 - 1) ワンネス財団の再犯防止等に関する活動紹介
 - 2) 上映会「幸せに生きるための手引き」
全国の刑務所等に配布した、ある人の更生を追ったドキュメンタリーを上映。
 - 3) パネルディスカッション
これからの更生支援をテーマに、識者、犯罪被害者家族、支援者が登壇。
9. 参加申込: 特設ページ https://oneness-g.com/events/symposium_202510
または、ワンネス財団相談ダイヤル(電話:0120-111-351)にて受付

以上

【本件お問い合わせ先】 ワンネス財団奈良本部 電話: 0745-24-7766 担当: 三宅

新たな立ち直り支援への眺望

ワンネス財団 ウエルビーアイニング・シンポジウム／札幌

2025年

10/19(日) 13:30-16:30 (受付開始13:00)

入場無料・要申込み

札幌市教育文化会館 研修室403 (定員 60名)

札幌市中央区北1条西13丁目

立ち直り支援においては、「支援」という非対等な関係では、当人が抱える「生きづらさ」を聴くことや知ることは、実は困難です。支援者という立場から一步離れ、当人の「生きなおし」の場に(たまたま)居合わせた同じ「生きづらさ」を抱える同行者として、「生きなおし」の道程を共に歩む時、そこには「生きづらさ」からの解放と新たな「生きがい」が生じます。そのような関係性の中で、支援者とされる者が、それぞれの課題解消の「仲介者」や「応援者」へと変質し、各々がウェルビーアイニング(生きがいと、生きなおす)の担い手となります。この「生きなおし」を実現するためには、そのような関係性が構築される場(空間・時間)と、その担い手(人間・仲間)が必要とされます。この新たな「生きなおし」の関係は、従来の支援者中心の立ち直り「支援」が、当事者中心の生きなおしへの「応援」へと転換し、その活動は社会全体へのウェルビーアイニングを中心とした応援の輪へとさらに広がってまいります。このシンポジウムでは各々の立場から、これまでの実践をお話しいただきます。

プログラム

13:30 ・ワンネス財団概要紹介

- ・上映会「幸せに生きるための手引き」(予定)

ナレーション: 西田敏行 監督: 豪田トモ

14:20 休憩

14:30 パネルディスカッション



パネラー



西田利昭氏
奈良県地域生活
定着支援センター長



緒方伸子氏
北新地クリニック
放火事件被害者家族

コーディネーター



中島学
福山大学教授
ワンネス財団顧問

伊藤宏基(ワンネス財団共同代表)
泉圭介(ワンネス財団共同代表)

対象

司法、矯正、更生保護、福祉関係者を中心に、生きなおしの応援に関心をお持ちの方

申し込み方法

申し込みフォーム(右のQRコードを読み込み)してお申し込みください。



主催・お問い合わせ



ワンネス財団
生きがいを応援して20周年

ワンネス財団奈良本部(月～金10時から17時)
0745-24-7766



・札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅、1番出口から徒歩5分
・市電「西15丁目」停から徒歩10分

～家族の会～

ワンネスファミリーグループ

※予約不要・参加費無料



家族のための安心できる学びと交流の場。

悩みを話し合い、経験を語り合いながら、生きがいを育むきっかけをつくります。

施設利用の有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

札幌会場

原則第3日曜日 13:30～15:00

※月によって会場が変わりますのでご確認の上ご来場ください。

■ 8/17・9/21（4階・研修室3）

■ 11/16（4階・研修室4）

※10/19はワンネス財団ウェルビーイングシンポジウム札幌開催のため休止します。

※12月～3月まではオンライン（zoom）開催となります。

札幌市男女共同参画センター

（札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内）

・札幌市営地下鉄東西線、南北線、東豊線「札幌」駅

から地下歩道12番出口から徒歩約3分

・札幌市地下鉄南北線「北12条」駅から徒歩約6分

※オンライン開催も実施しています。（会場開催とは日程が異なります）

詳細は右のQRコードからご確認ください。

私たちワンネス財団は、罪に問われた者、非行少年、ひきこもりや依存症者、そして家族の皆さまが「生きがいをもって生きなおす」ことを応援しています。2005年に奈良県で活動を開始し、2013年には沖縄県で初の施設を開設。現在は、奈良と沖縄を中心に障害福祉サービス事業所や法務省保護観察所登録自立準備ホーム等を運営しています。各施設には全国から利用者が訪れ、これまでのべ1,400名を超える人たちの応援を行ってきました。

また、自治体からの受託事業、農園事業、馬場運営事業、訪問看護事業を実施。さらに全国からの相談対応、各種団体や学校での講演・セミナー開催などを通じて、地域の生きがいづくりにも貢献しています。活動のキーワードは「ウェルビーイング」。こころ・からだ・つながりを良好にし、単に再犯や再依存を防ぐだけではなく、その人が自身の幸せを育んでいくことまでを応援します。

奈良、沖縄の各施設では様々なカリキュラムや生活支援を通じて個々の幸せを育むサポートを展開。生きなおした人が施設から地域に定着し、社会貢献し、犯罪や依存が減る社会を目指して、これからもウェルビーイングな生きなおしを発信していきます。

回復から成長、生き甲斐へと繋がる施設カリキュラムの流れ

01. 回復

休息し、回復する。自身の声に耳を傾ける。強みの棚卸しをする。

02. トレーニング

社会性/対話力を身につける

ソーシャル・コミュニケーションスキルを身につける。リレーションシップを感じる。強みを知り、磨いてみる。

■ 主な対象者

- ・触法行為、逆行、依存症、ひきこもりなどで悩みを抱えているご家族
- ・生きづらさを抱えているご家族

＼家族会に参加して得られる7つのイイこと／

1. 自分と同じような悩みを抱えている人に会える
2. 話を聞いてもらえ、他の家族の話を聞くことができる
3. 触法行為や依存症などの背景を学ぶことができる
4. 当事者との関わりに必要なことが分かる
5. 当事者の話を聞くことができる
6. 仲間ができる孤独じゃなくなる
7. 元気になる！



■ お問合せ

ワンネス財団相談ダイヤル

0120-111-351

電話受付時間 月～金 10:00～17:00

会場の詳細や
最新情報はこちら



生きがいをもった 生きなおしの応援

ワンネス財団は、マイナスをゼロにするだけでなく、ゼロからプラスへと向かう人材育成を目指しています。セラピュティックコミュニティ（TC）で心理的安全性を確保し、仲間を尊重し応援し合う環境を作ります。

また、ポジティブ心理学や自然のなかでのアクティビティ、アート、農業、ホースセラピーを通じて自己と向き合い、人との絆を深めます。自分の強みを見つけ、ワクワクする感覚を大切にしたカリキュラムを提供しています。



03. 実践・インターン

強みを行動に移す

企業や連携したプログラムを通じて社会の中で、強みを活かす感覚を知る。多様な生き方に触れる。

04. 面接・就労

行動と社会を繋げる

強みを活かし、社会の中でバーバスを実現する。生き甲斐に気付く。